

くまもと市議会だより

いちよう

平成25年
12月
vol.9

トピックス → 詳細は下段をご覧ください

「熊本市現代美術館の
管理運営のあり方とは」

3万トン級の大型船が入港できるようになった熊本港に9月27日、
初めて入港したクルーズ客船「にっぽん丸」(約2万2千トン)

<http://kumamoto-shigikai.jp/>

熊本市議会

検索

<http://www.facebook.com/kumamoto.shigikai>

熊本市議会公式 facebook

検索

平成25年第3回定例会のあらまし

平成25年の第3回定例会は、9月12日から10月4日までの23日間にわたって開かれ、平成25年度補正予算・決算議案など市長提出議案119件のほか、議員提出議案5件、請願1件を審議しました。

議決結果は、市長提出議案119件は原案どおり可決、議員提出議案は3件が原案どおり可決、2件が否決、請願1件については不採択となりました。

平成25年第3回定例会日程

9月12日	開会（市長提案理由説明）
13日～19日	質問
18日、19日	議会運営委員会
19日	予算決算委員会理事会 議会活性化特別委員会
20日～	予算決算委員会（補正予算・決算概況説明）
24日、25日	予算決算委員会（総括質疑）
26日～	予算決算委員会分科会、部門別常任委員会
10月1日	予算決算委員会理事会
2日	予算決算委員会（分科会長報告、締めくくり総括質疑、採決）
4日	閉会（委員長報告、質疑、討論、採決）

主な議案の概要

平成25年度熊本市一般会計補正予算

食肉センター廃止に伴う「豚と畜機能」の代替施設を確保するための整備経費5億4,200万円や、水前寺陸上競技場の第2種公認継続に向けた陸上競技場トラック等を改修するための経費8,500万円、5年以内に認可保育所へ移行する認可外保育施設に対する運営助成経費2,600万円などを計上しました。

これにより、一般会計予算は12億8,242万円の増額となり、補正後の予算総額は2,936億6,189万円となりました。

熊本市食肉センターの廃止に伴う支援等に関する条例の一部改正について

食肉センターの廃止に伴い、「豚と畜機能」を熊本畜産流通センターへ移転するために必要な助成等に関し、必要な事項を定めるため、条例を制定しました。

トピックス

熊本市現代美術館の管理運営のあり方とは ～公募によらない指定管理者の選定を求める議会からの指摘～

●これまでの市の対応（経緯）

熊本市現代美術館は平成14年10月の開館以来、「財団法人熊本市美術文化振興財団」が管理運営にあたっていましたが、平成15年の地方自治法改正により、公の施設の指定管理者制度が導入されることとなり、他の施設同様、5年ごとに公募による管理者の選定が行われています。

●議会での指摘事項と論議の経過

現代美術館への公募による指定管理者の導入については、これまで度々論議が重ねられ、平成17年度一般並びに特別会計決算特別委員会においては、「運営主体が変わる可能性のある公募による指定管理者制度にはなじまず、直営等で管理していくべき」との取りまとめが全会一致でなされました。

また、今定例会の予算決算委員会経済分科会においても、「管理者の選定を非公募とするなど、選定方法の再考を求める」旨の取りまとめがなされました。

さらに、予算決算委員会締めくくり総括質疑においては、経済分科会長報告の後、これまでの論議の経過や取りまとめにおける指摘を踏まえた執行部の見解がただされ、市長より「議会からの指摘を重く受け止め、今後、現代美術館の特殊性や法人をめぐる状況の変化、文化行政のあり方等を総合的に勘案し、非公募による管理者選定も含めた考え方を整理



した上で、議会に対し報告しながら対応して参りたい」との答弁がありました。

このように、現代美術館の管理運営については、これまで議会が求めてきた、「文化、芸術分野において高度に専門的な知識と経験が要求される重要施設であるという特殊性に配慮すべき」との指摘に対し、一定の理解が示されました。